

IPW総合課程

スキルアップしてみませんか？

高度化・専門分化・多様化が進む保健・医療・介護・福祉の現場。
サービスの場は施設から在宅・地域へ・・・
支えるのは“専門職連携（IPW）”です。

IPW総合課程は、IPWを推進するリーダーの育成を目的とする体系的で実践的な講座です。

IPWに関する基本理論や最近の動向、施設や地域でのファシリテータとしての方法論や技術、様々な具体的状況下におけるIPWの実際など、今、現場で本当に必要な連携を学びます。

埼玉県立大学が開学以来、全国に先駆けて取り組んできたIPWのノウハウを皆様にお伝えします。

IPW（Interprofessional Work：専門職連携）は複数の領域の専門職がそれぞれの知識と技術を提供しあい、相互に作用しつつ、共通の目的の達成を利用者とともに目指す援助活動です。

開催日

2022年8月27日(土)から12月10日(土) 全8日間

対象

- 専門職としてのキャリアアップや新たな知見の修得、実践を目指す社会人の方
- IPWについて学びたい方

受講資格

5年目以上の中堅実践家

特色

- お住いに関係なく、どこからでも参加できるZoom開催
- 修了認定者には大学長名の「履修証明書」を授与

受講料

20,000円

定員

20人（定員を超えた場合は抽選）

受講申込

大学ホームページ又は下記応募フォームからお申込みください。

申込締切日：8月10日（水）（15時）

<https://business.form-mailer.jp/fms/495befd7119256>



本講座は学校教育法に基づく「履修証明書」を交付することができる履修証明プログラムとして開講し、社会人等の多様なニーズに応じた体系的な知識・技術等の修得を目指した学習機会の提供を目的としています。

科目	科目概要	科目講義内容
IPW 総論 田口 孝行 川越 雅弘 田中 滋 3 時間 (135 分)	地域包括ケアシステムへの対応をはじめとする各場面において、保健・医療・福祉分野の専門職に要求される専門職連携 (IPW) 及び専門職連携教育 (IPE) について概略を学びます。	①IPW/IPE とは？ ②保健医療福祉職に求められる IPW ③2040 年に向けた地域包括ケアシステムの進展
IPW の基礎 國澤 尚子 朝日 雅也 江口 のぞみ 6 時間 (270 分)	IPW の基礎である「ヒューマンケア」、「自己理解・他者理解」、「コミュニケーション」を通して、常に自分に問いかける姿勢について考えます。	①参加者を知る (自己紹介) ②IPW の基本原則とヒューマンケア ③コミュニケーションと自己理解
IPW 各論 丸山 優 鈴木 康美 鳶末 憲子 小川 孔美 朝日 雅也 11 時間 (495 分)	IPW のチーム形成・チーム活動、チーム活動において生じる「葛藤」、チームを活性化するための「リフレクション」・「ファシリテーション」、IPW を促進する「記録方法」の例について学びます。	①IPW におけるチーム活動とチーム形成 ②IPW におけるリフレクションの意義 ③IPW を促進する記録方法 (F-SOAP) ④IPW に必要なファシリテーションスキル ⑤IPW の展望
IPW 実践の検討 井上 和久 久保田 章仁 木下 聖 善生 まり子 岡田 茂治 鳶末 憲子 山本 英子 11 時間 (495 分)	受講生が経験した IPW の事例についてチームで検討し、連携における課題の明確化、解決策の模索などを行います。 この検討プロセスを通して、チームでのディスカッションを体験します。また、チームで検討した内容及びプロセスを発表し合い、IPW 実践の課題の理解を深めます。	①オリエンテーション ②アイスブレイク ③連携における課題の明確化 ④検討課題の決定 ⑤課題解決策の検討・プレゼン資料作成 ⑥事例発表：最終ディスカッション ⑦事例発表 (報告) ⑧リフレクション
IPW 評価 (人材育成) 善生 まり子 國澤 尚子 4 時間 (180 分)	IPW を実践する“連携力”を育成するための教育の現状・成果・課題及び IPW コンピテンシーと IPW の実践者の自己評価について学びます。	①IPE の現状・成果・課題 ②IPW コンピテンシーと自己評価
IPW 実習 田口 孝行 國澤 尚子 柴田 貴美子 佐藤 玲子 小川 孔美 善生 まり子 上原 栄一郎 柴崎 智美 (埼玉医科大学) 17 時間 (765 分)	実際の利用者・患者及び担当者へのインタビュー内容に基づき、より良いケアに向けた支援計画をチームで作成します。 そのプロセスにおいて、本 IPW 総合課程における各講義・演習での学びを模擬実践体験として確認します。	①オリエンテーション ②IPW 実習 ③実習のまとめ：ディスカッション ④チームディスカッション：発表準備 ⑤IPW 実習報告会・ディスカッション ⑥実習リフレクション
IPW トピック講座 林 裕栄 中村 裕美 木下 聖 柴田 貴美子 上原 美子 5 時間 (225 分)	IPW に関するトピックを提供します。 各専門分野及び隣接分野における連携の実際を知り、保健医療福祉分野の連携への活用・応用について考えます。	①ケアラー支援における地域連携 ②家族介護者支援の哲学：英国の法整備とアジア諸国との共通点 ③地域共生社会づくりと IPW の取組み ④精神障害・障害分野の IPW ⑤IPW と子ども支援
リフレクション 田口 孝行 國澤 尚子 善生 まり子 4 時間 (180 分)	自分及び他者は何を学び、どう考えたかをリフレクションし、言語化することで、各講座・演習内容の理解を深めます。	①第 1 回の振り返り ②第 2 回の振り返り ③第 3 回の振り返り ④IPW 総合課程全体を通しての振り返り

全講義時間 61 時間 (2,745 分)

回 (日程)	時間	科目・単元名	講師
第1回 8月27日 (土)	9:30 ~ 9:45	開講式「学長あいさつ・全体オリエンテーション」	星文彦・善生まり子
	9:45 ~ 10:30	IPW総論①「IPW/IPEとは？」	田口孝行
	10:40 ~ 12:10	IPWの基礎①「参加者を知る（自己紹介）」 オンラインIPW実施ツール①google jamboardの使用方法	國澤尚子
	13:00 ~ 15:25	IPW各論①「IPWにおけるチーム形成とチーム活動」	丸山優
	15:30 ~ 16:15	リフレクション①「第1回の振り返り」	田口孝行・善生まり子
第2回 9月3日 (土)	9:00 ~ 10:30	IPWの基礎②「IPWの基本原則とヒューマンケア」	朝日雅也
	10:40 ~ 12:10	IPW各論②「IPWにおけるリフレクションの意義」	鈴木康美
	13:00 ~ 14:30	IPWの基礎③「コミュニケーションと自己理解」	江口のぞみ
	14:40 ~ 15:25	IPWトピック講座①「ケアラー支援における地域連携」	林裕栄
	15:30 ~ 16:15	リフレクション②「第2回の振り返り」	國澤尚子
第3回 9月17日 (土)	9:00 ~ 10:30	IPW評価（人材育成）①「IPEの現状・成果・課題」	善生まり子
	10:40 ~ 12:10	IPW各論③「IPWを促進する記録方法（F-SOAIP）」	畠末憲子
	13:00 ~ 14:30	IPW実践の検討①「オリエンテーション」「アイスブレイク」 オンラインIPW実践ツール②googleスライドの使用方法	井上和久・木下聖 久保田章仁・善生まり子 岡田茂治・畠末憲子
	14:40 ~ 15:25	IPW実習①「オリエンテーション」	田口孝行
	15:30 ~ 16:15	リフレクション③「第3回の振り返り」	田口孝行
第4回 10月8日 (土)	9:00 ~ 11:15	IPW各論④「IPWに必要なファシリテーションスキル」	小川孔美
	11:25 ~ 12:10	IPW総論②「保健医療福祉職に求められるIPW」	川越雅弘
	13:00 ~ 16:10	IPW実践の検討②「連携における課題の明確化」 「検討課題の決定」「課題解決策の検討」「プレゼン資料作成」	井上和久・木下聖 久保田章仁・善生まり子 岡田茂治・畠末憲子
第5回 10月22日 (土)	9:00 ~ 12:10	IPW実践の検討③「事例発表：最終ディスカッション」 「事例発表（報告）」	井上和久・木下聖 久保田章仁・善生まり子 岡田茂治・畠末憲子
	13:00 ~ 13:45	IPW実践の検討④「リフレクション」	岡田茂治・畠末憲子
	13:50 ~ 14:35	IPWトピック講座②「家族介護者支援の哲学：英国の法整備とアジア諸国との共通点」	中村裕美
	14:40 ~ 15:25	IPWトピック講座③「地域共生社会づくりとIPWの取組み」	木下聖
	15:30 ~ 16:15	IPWトピック講座④「精神障害・障害分野のIPW」	柴田貴美子
第6回 11月5日 (土)	9:00 ~ 16:00	IPW実習② 1) 介護老人保健施設 2) 特別養護老人ホーム 他 ※施設とオンラインで接続	田口孝行・國澤尚子 柴田貴美子・佐藤玲子 小川孔美・上原栄一郎 柴崎智美（埼玉医大）
第7回 11月19日 (土)	9:00 ~ 9:45	IPW総論③「2040年に向けた地域包括ケアシステムの進展」	田中滋
	9:50 ~ 10:35	IPWトピック講座⑤「IPWと子ども支援」	上原美子
	10:40 ~ 12:10	IPW評価（人材育成）②「IPWコンピテンシーと自己評価」	國澤尚子
	13:00 ~ 15:15	IPW実習③「実習まとめ（グループワーク）」	田口孝行・國澤尚子 柴田貴美子・佐藤玲子 善生まり子・上原栄一郎 柴崎智美（埼玉医大）
	15:25 ~ 16:10	IPW各論⑤「IPWの展望」	朝日雅也
第8回 12月10日 (土)	8:30 ~ 9:15	IPW実習④「チームディスカッション：発表準備」	田口孝行・國澤尚子
	9:30 ~ 12:10	IPW実習⑤「IPW実習報告会：ディスカッション」	柴田貴美子・佐藤玲子 小川孔美・上原栄一郎
	13:00 ~ 13:45	IPW実習⑥「実習リフレクション」	柴崎智美（埼玉医大）
	13:50 ~ 14:35	リフレクション④「IPW総合課程全体を通しての振り返り」	田口孝行
	14:50 ~ 15:30	修了式「履修証明書授与・学長あいさつ」	星文彦・善生まり子

◆IPW総合課程—プラス特別編— 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会講演会にご参加いただけます。（自由参加）

11月26日 (土)	10:10 ~ 11:40	講演・対談テーマ「今後、求められるIPE/IPW（仮）」 講演1：大塚真理子氏（長野県看護大学長） 講演2：朝日雅也氏（埼玉県立大学高等教育開発センター長、教授） 対談：大塚真理子氏、朝日雅也氏
---------------	---------------	--

履修証明プログラムとは

履修証明プログラムは、学校教育法に基づくものであり、大学としてのより積極的な社会貢献を促進するため、社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を特別の課程として開設し、修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

【参考】大学等の履修証明制度について（文部科学省ウェブサイト）
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

注意事項等

受講料納入

受講料は前納制です。受講決定者に対し本学より発送する受講案内をご覧の上、期日までに指定口座に受講料を納入してください。口座振り込みに係る手数料はご本人負担でお願いします。

履修生の身分

履修証明制度は、社会人等の学生以外の者を対象として開設するものとされています。大学に学生として在籍し、所定の単位を修得して学位を取得するための学位課程とは異なるものであり、本学学生としての身分は付与されませんので、予めご留意ください。

履修時における注意

- ・ 講義の録音・録画は出来ません。また、講師の許可なく、講義資料等の複製、二次利用、公開等これらに類する行為を禁止します。
- ・ 配布されたZoomのURL、ミーティングIDやパスコード等の情報管理を適切に行い、履修生本人以外には知られることがないように十分に注意してください。



問合せ先

埼玉県立大学 地域産学連携センター
〒343-8540 越谷市三野宮820番地

☎：048-973-4114

E-mail：edec@spu.ac.jp